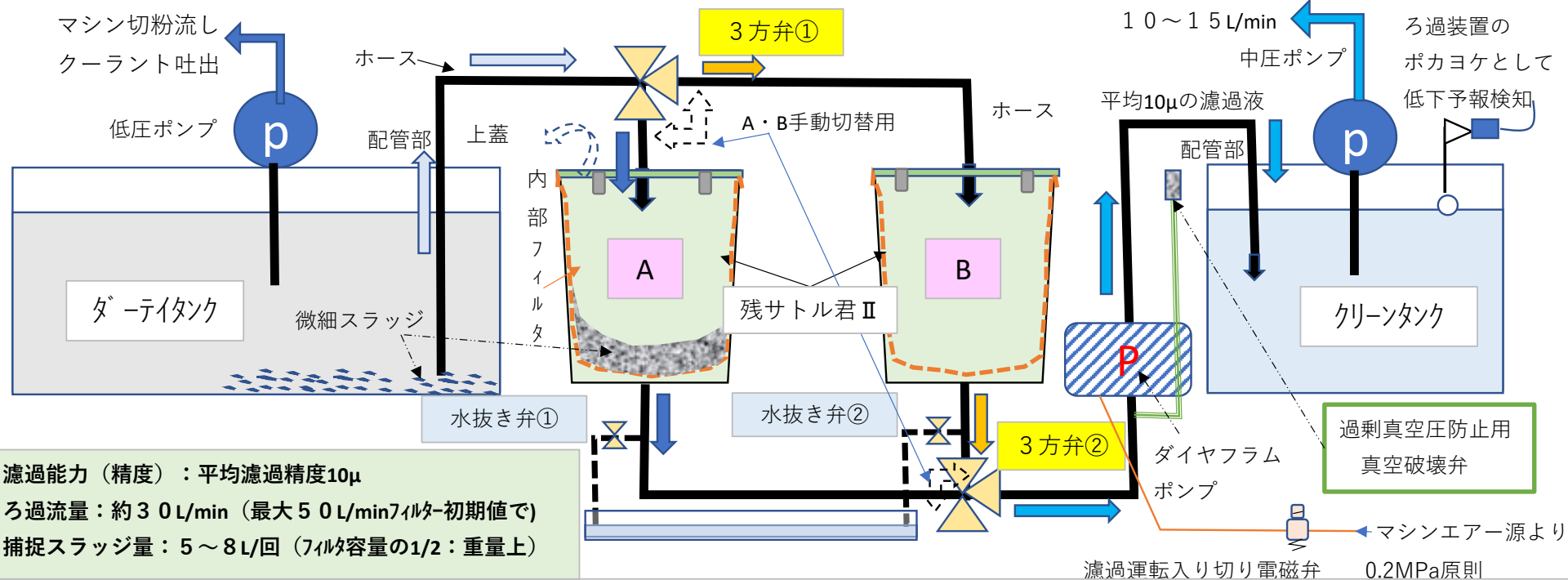


# 設備付き・残サトル君Ⅱによる濾過システム（交互運転）事例の説明

2022. 7. 吉日

ICN(株)石原



濾過能力（精度）：平均濾過精度10μ  
 ろ過流量：約30L/min（最大50L/min7フィルター初期値で）  
 捕捉スラッジ量：5～8L/回（フィルター容量の1/2：重量上）

## 設備付き・残サトル君Ⅱ2台：A/Bによる交互濾過運転の概要

- 1.スラッジの溜まったダ-テイタンクよりバキュームホース（パイプ付き）を通して残サトル君Ⅱ：Aを通りダイヤフラムポンプによりクリーンタンクへクリーン液を投入し続け、定期的（マシンサイクルのカンターによる管理や週末の定時交換等）交互運転時期を決める。
- 2.定期交換清掃タイミングにてマシン運転（ポンプ関係含む）を止め、3方弁2ヶ所 ①②をA⇒B側に切り替え、水抜き弁 ①を開きBの水抜き弁 ②は閉じる。
- 3.マシン稼働と共に濾過ポンプも運転開始（交互運転の切り替え時期までこの状態を維持する）・・・残サトル君Ⅱ：Bを使い続ける。

※残サトル君A内のフィルター溜まった切粉は水抜き時間を1時間～2時間経過が水分が抜けて作業し易い。（その日の作業終了時など数時間後でも可）

作業は残サトル君Ⅱの上蓋のパッチン錠を開き内部フィルターと取り出し切粉台車などへスラッジを入れる。

フィルターが破れていないか確認後フィルターの外側にスラッジがあれば軽くダ-テイタンククーラントで洗えば再利用出来る。

洗った内部フィルター（破れていた場合は新品フィルター）を残サトル君ⅡAの内部にセットし上部蓋を閉じておく。

- 4.サイクルカンターや定時交換タイミングになったらマシンを止めたままで3方弁 ①と3方弁 ②をB⇒Aに切替え、水抜き弁 ②を開き水抜き弁 ①を閉じる。
- 5.マシン稼働と共に濾過ポンプも運転開始（交互運転の切り替え時期までこの状態を維持する）・・・残サトル君Ⅱ：Aを使い続ける。

※部は残サトル君ⅡAで行った作業と同じ様に残サトル君ⅡBも行い次の交換サイクル待ちとなりA/Bの交互運転は繰り返される。

備考）残サトル1台のみで定期的（作業終了時等）にフィルター交換や脱水など保全時間が確保できれば、設備付き1台の仕様も可能です。